

# GUIDER ZERO

Version 2.6.0.0

## 改良内容のご紹介



本書では代表的な改良内容をご紹介します。

その他の改良内容につきましては、別紙「アップデート一覧」を合わせてご覧ください。

また機能の詳細につきましては、ソフトウェアご利用中の F1 キーやメニュー [ヘルプ] からヘルプを参照してください。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における商標または登録商標です

その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です

このソフトウェアは Apache 2.0 ライセンスで配布されている製作物が含まれています <http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

## はじめに

いつも弊社製品をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

GUIDER ZERO の最新バージョン Version 2.6.0.0 の改良内容をご紹介します。

### このバージョンの概要

#### TS 観測時にオフセット観測の対応

TS 観測のプロトコル「NTRobo(Direct)」連動時、観測に割り込んでオフセット観測できる機能を追加しました。建物の角まで距離が計測できない場合などに利用する「角出観測（1点/2点）」、円柱形上の中心までの距離や中心位置を計測する「芯出観測（1点/2点）」の2種類を用意しました。より柔軟な観測に対応できるようになります。

#### 現況データ編集機能に新規コマンドを追加

現況データの点列を反転する「現況点列反転」コマンド、現況データを再作図する「現況再作図」コマンドを追加しました。

#### 文字入力アシストの機能アップ

文字入力アシストの画面サイズ変更機能やテンキーモード、アルファベット入力機能を追加しました。指で操作できるようアシスト画面を大きく表示したり、GUIDER ZERO の図面を広く利用するためにアシスト画面を小さく表示できます。また、テンキーモードを利用するとさらに小さな画面となり、数値入力等で邪魔にならず操作できます。

#### TS 測設に3次元モードを追加

TS 測設のプロトコル「NTRobo /NTRobo(Direct)」連動時、TS 測設で3次元の測設に対応しました。前後左右方向だけでなく、上下方向に対しても誘導できます。

#### その他改良

各種観測での矩形観測（2点：対角）機能や、CAD コマンド利用時にダブルタップで点列を確定する機能、ストック観測の一覧で表示モードを切り替える機能など、実業務で役立つ機能を数多く追加しました。また、CAD 編集の効率化を図るための改善も行いました。ぜひ、ご利用ください。

なお、本書では代表的な改良内容をご紹介します。

GUIDER ZERO Ver.2.6.0.0 のその他内容につきましては、別紙「アップデート一覧」を合わせてご覧ください。

# 目次

はじめに.....	- 3 -
このバージョンの概要 .....	- 3 -
<b>目次 .....</b>	<b>- 4 -</b>
<b>GUIDER ZERO 新規機能のご紹介 .....</b>	<b>- 5 -</b>
オフセット観測（角出） .....	- 5 -
オフセット観測（芯出） .....	- 7 -
現況点列反転 .....	- 9 -
現況再作図 .....	- 9 -
<b>機能改良のご紹介 GUIDER ZERO 基本機能.....</b>	<b>- 10 -</b>
矩形観測「2点」の対応 .....	- 10 -
文字入力アシストの機能アップ .....	- 11 -
ペン操作の機能アップ .....	- 13 -
TS 測設の3次元対応 .....	- 14 -
<b>機能改良のご紹介 CAD アプリ.....</b>	<b>- 15 -</b>
現況 CAD コマンドの円弧/サーチ対応.....	- 15 -
人口斜面の作図強化.....	- 16 -
<b>ご注意.....</b>	<b>- 17 -</b>
● 動作環境について .....	- 17 -
● データの互換性について.....	- 17 -
● 標準ユーザー権限での利用について .....	- 17 -

## オフセット観測（角出）

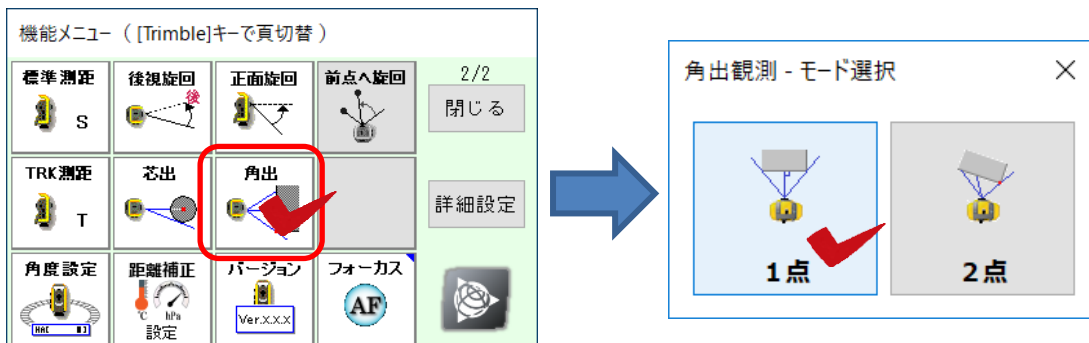
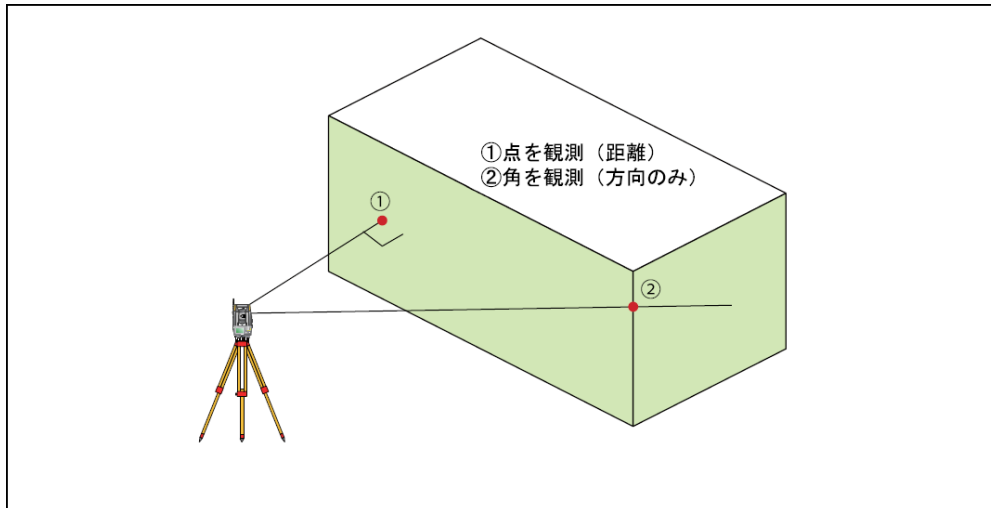
NEW Robotic PILOT

建物の角まで距離が計測できない場合などに利用する「角出観測」機能を追加しました。

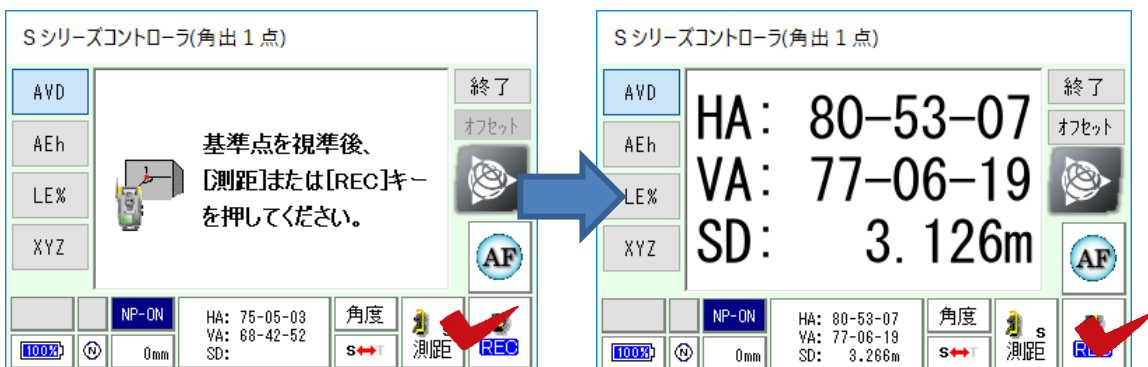
「プロトコル：NTRobo(Direct)」の連動時に利用できます。

### ■角出1点

器械からの観測方向と壁面が垂直と仮定して、壁面上の1点を計測して角までの距離を計測します。



「機能メニュー」で「角出」を選択して「1点」モードをタップ。

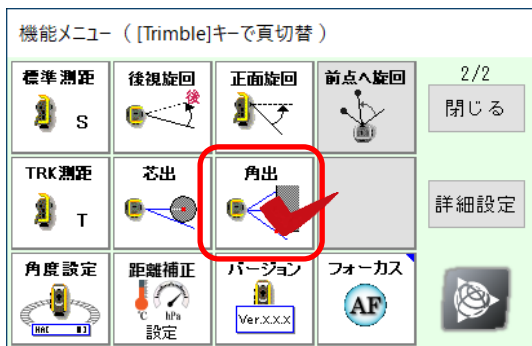
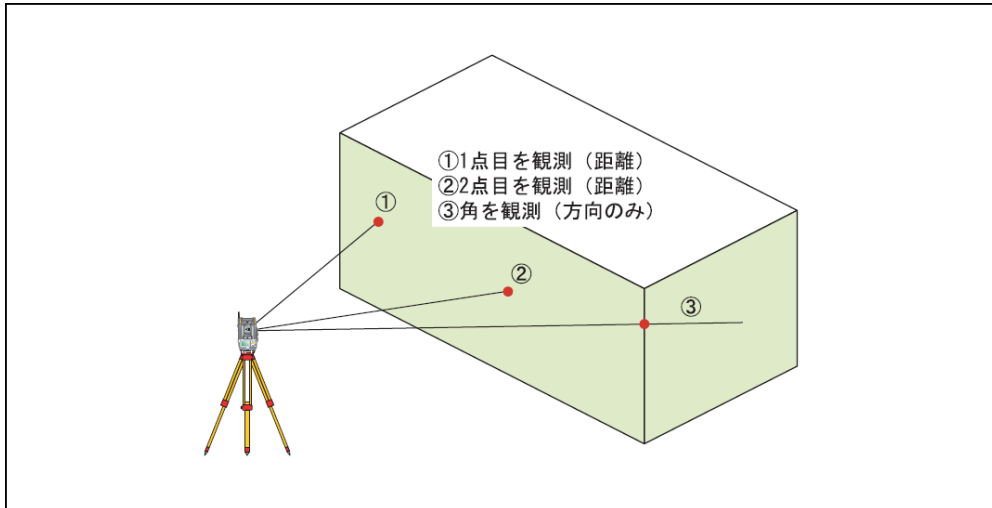


1点目の基準点を観測後（測距/REC）、角を観測（REC）すると角位置を観測データとして登録します。

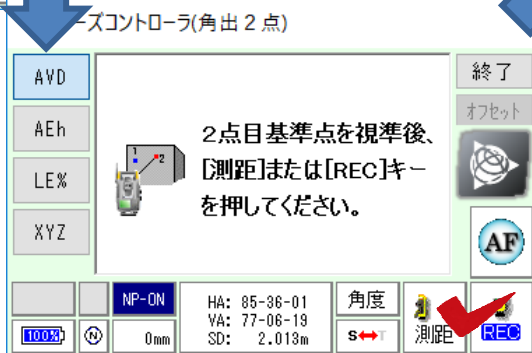
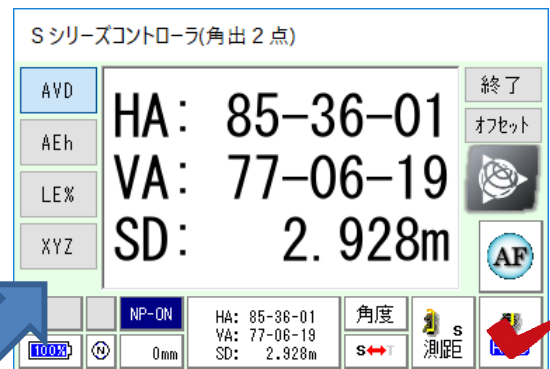
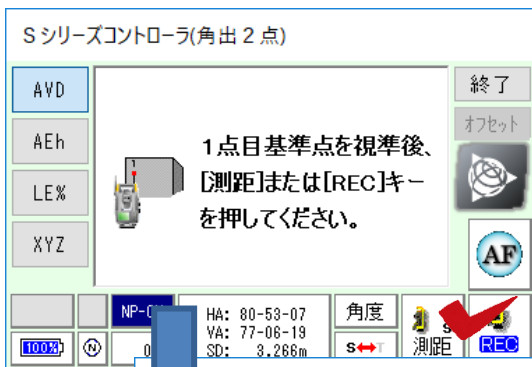
※基準点からのオフセット値（距離/比高）を手入力して算出することも可能

## ■角出 2点

器械からの観測方向と壁面が垂直でないとき、壁面上の2点を計測して角までの距離を計測します。



「機能メニュー」で「角出」を選択して「2点」モードをタップ。



2点の基準点を観測 (測距/REC) 後、角を観測 (REC) すると角位置を観測データとして登録します。

※基準点からのオフセット値 (基準/距離) を手入力して算出することも可能

## ■注意

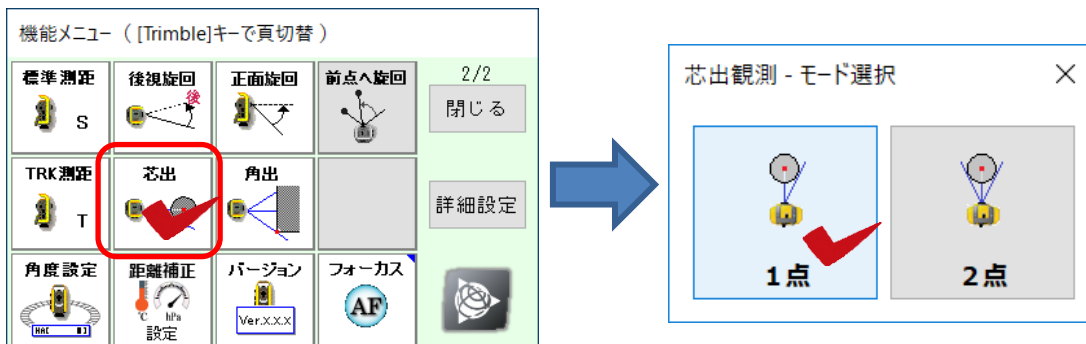
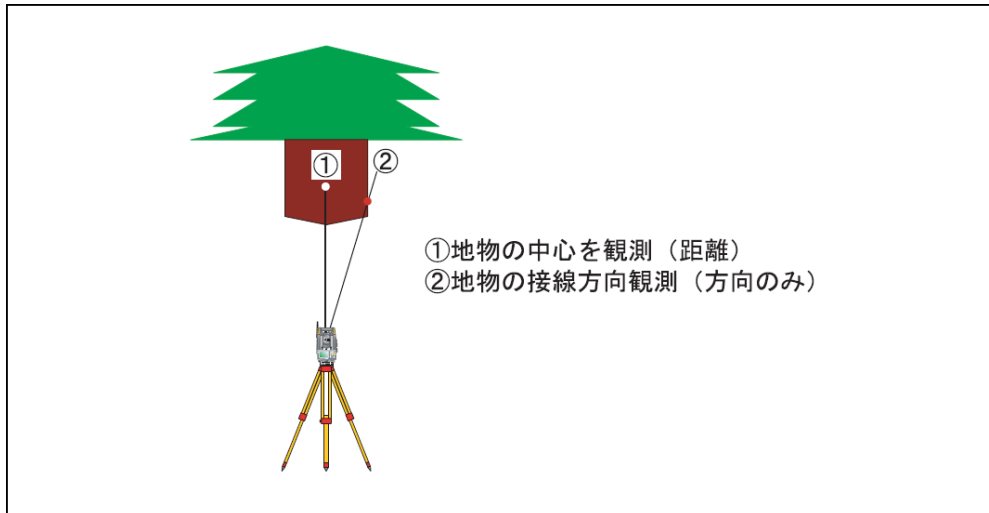
角出観測で求めた観測データは間接的に求めた結果のため、公共測量では使用できません。

円柱形上の中心までの距離や中心位置を計測する「芯出観測」機能を追加しました。

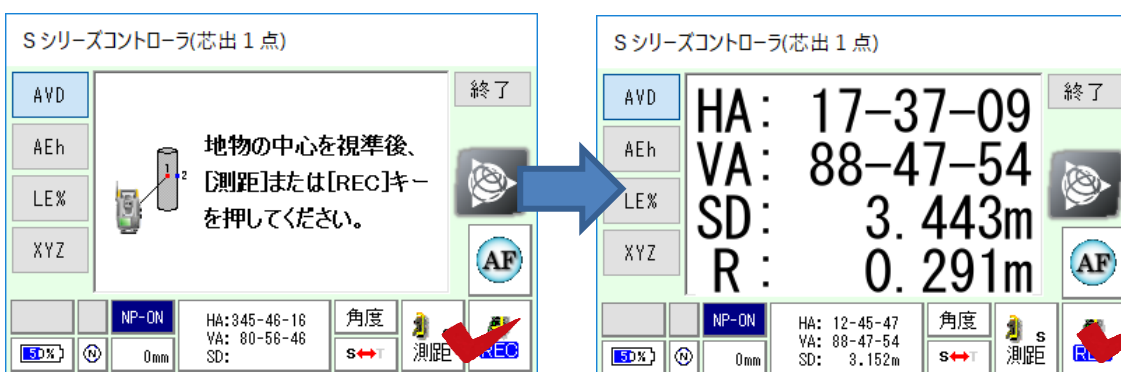
「プロトコル：NTRobo(Direct)」の運動時に利用できます。

■芯出1点

円柱形状地物の中心と接線方向を観測することで、地物の中心までの距離や地物の半径を計測します。



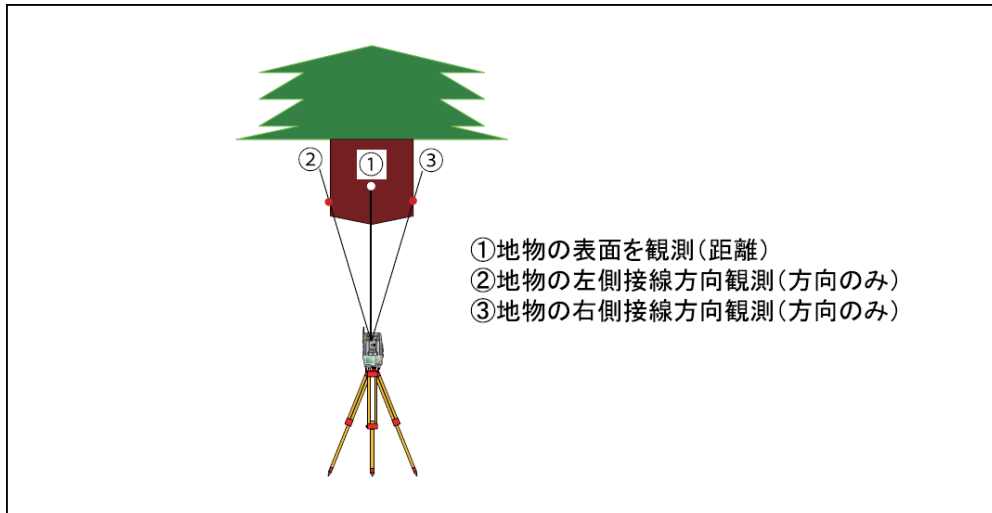
「機能メニュー」で「芯出」を選択して「1点」モードをタップ。



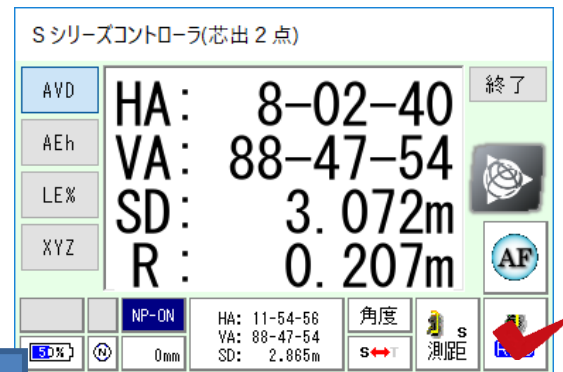
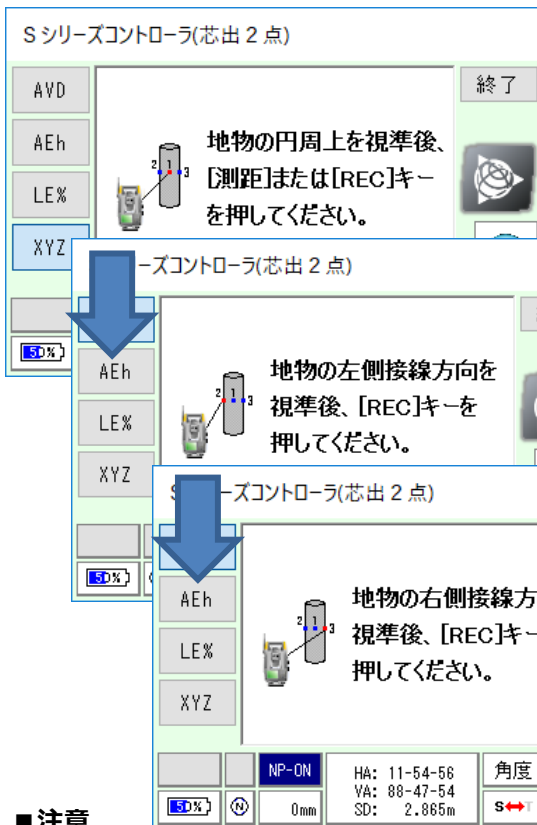
地物の中心を観測後（測距またはREC）、接線方向を観測（REC）すると中心位置を観測データとして登録します。

## ■ 芯出 2 点

円柱形状地物の表面 1 か所と接線方向 2 か所を観測することで、地物の中心までの距離や半径を計測します。



「機能メニュー」で「芯出」を選択して「2点」モードをタップ。



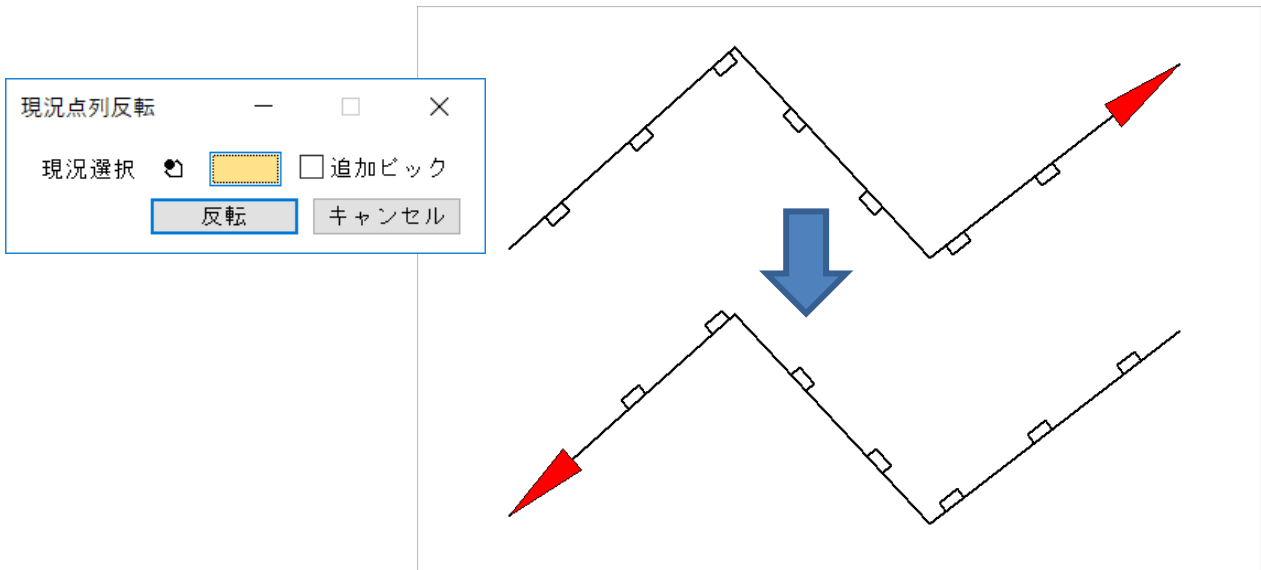
地物の中心を観測(測距またはREC)、左右の接線方向を観測(REC)後、計測結果画面(上図)のRECで中心位置を観測データとして登録します。

## ■ 注意

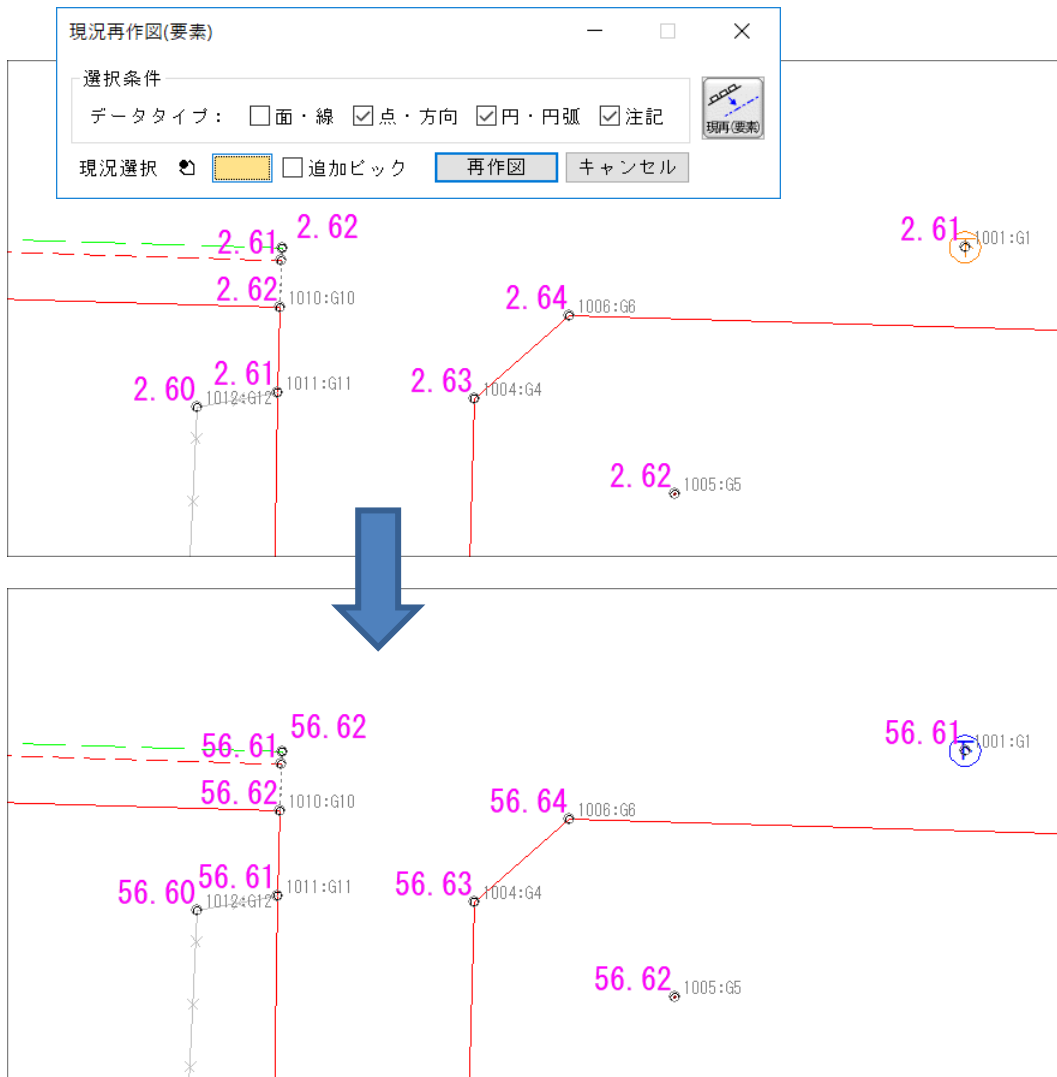
芯出観測で求めた観測データは間接的に求めた結果のため、公共測量では使用できません。



現況データの点列を反転するコマンドを追加しました。



現況データを再作図するコマンドを追加しました。



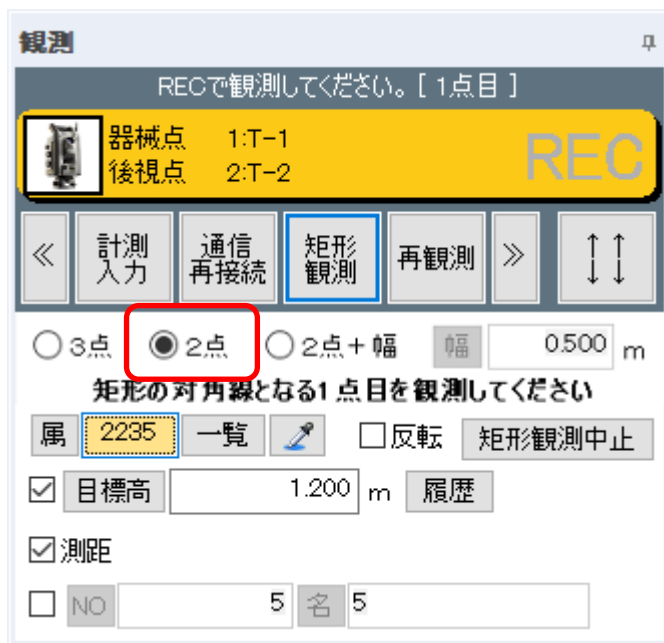
※TS 観測後、器械再計算で Z 値を再計算後に標高文字を再作図

# 機能改良のご紹介 GUIDER ZERO 基本機能

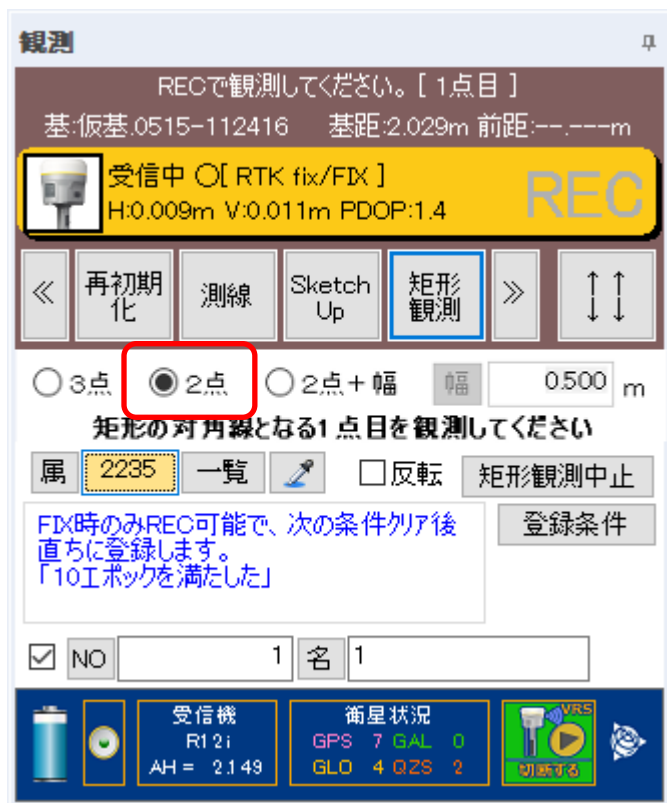
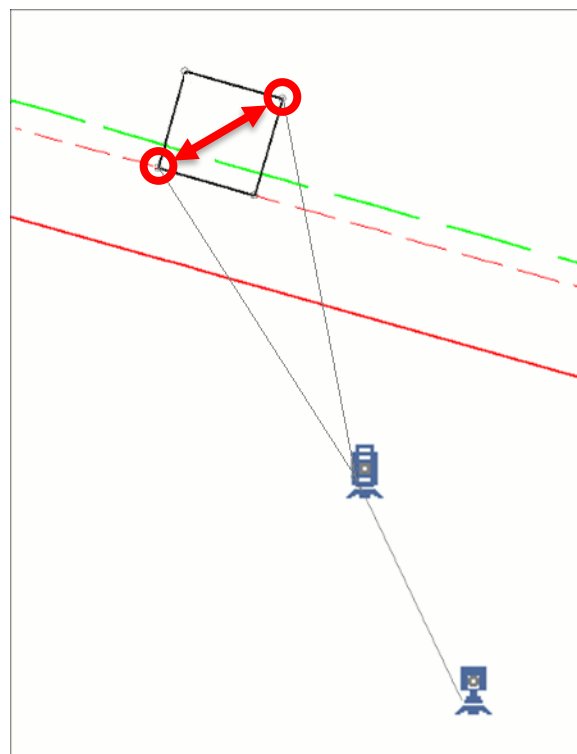
## 矩形観測「2点」の対応

UP 基本機能

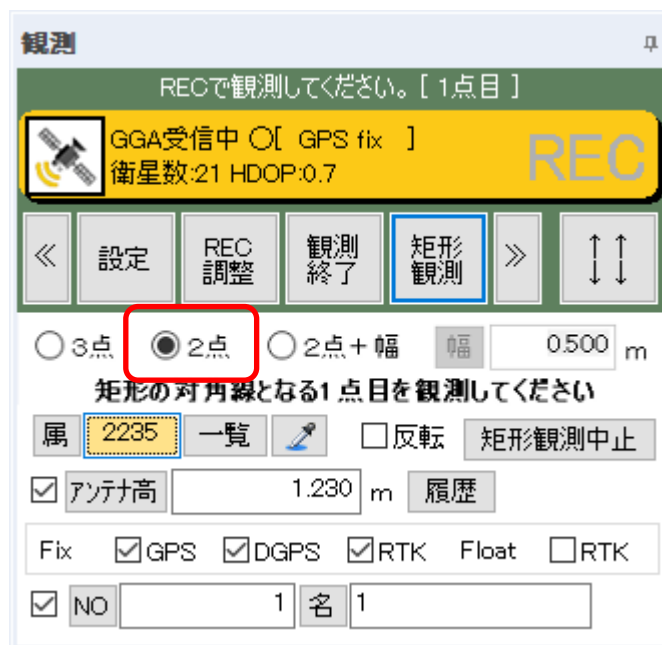
各種観測の「矩形観測」に、2点（対角）で矩形の現況地物を登録する機能を追加しました。



※TS 観測の矩形観測

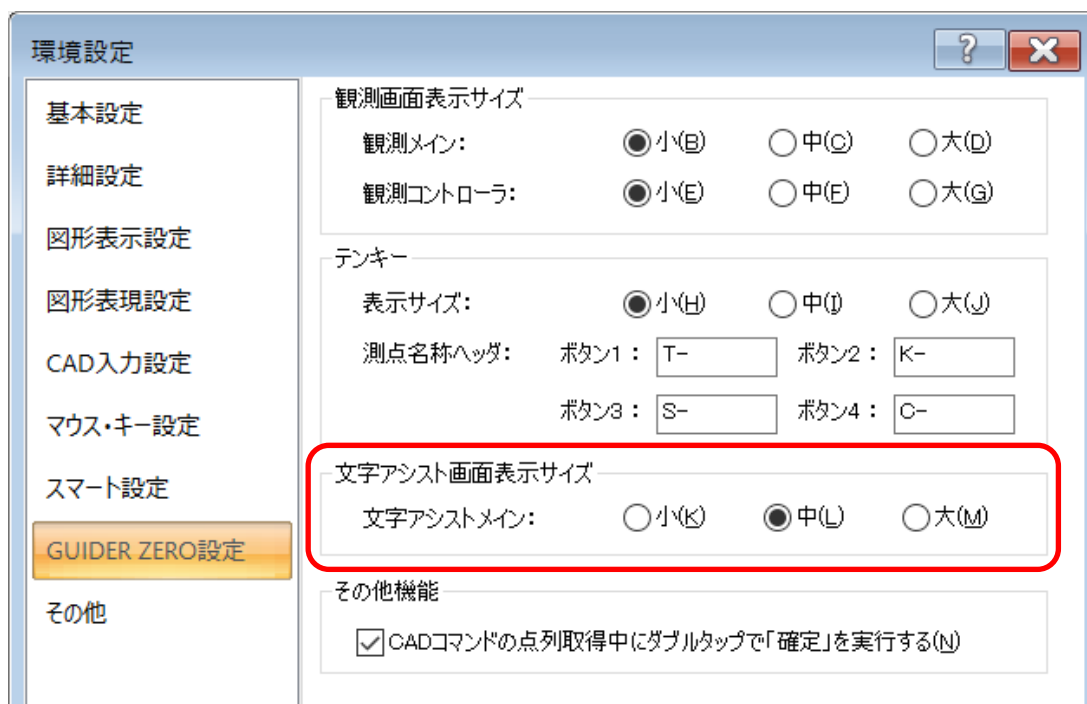


※GNSS 観測の矩形観測



※NMEA 観測の矩形観測

文字入力アシストの画面サイズを変更する機能を追加しました。



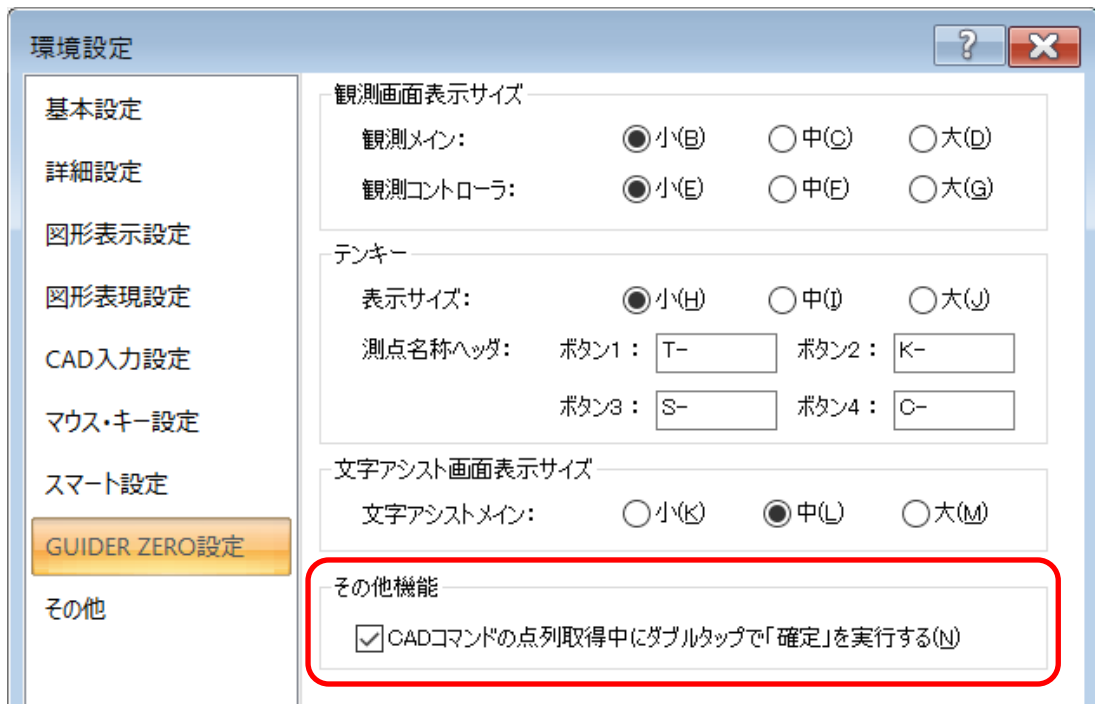
テンキーモード、アルファベット入力モードを追加しました。



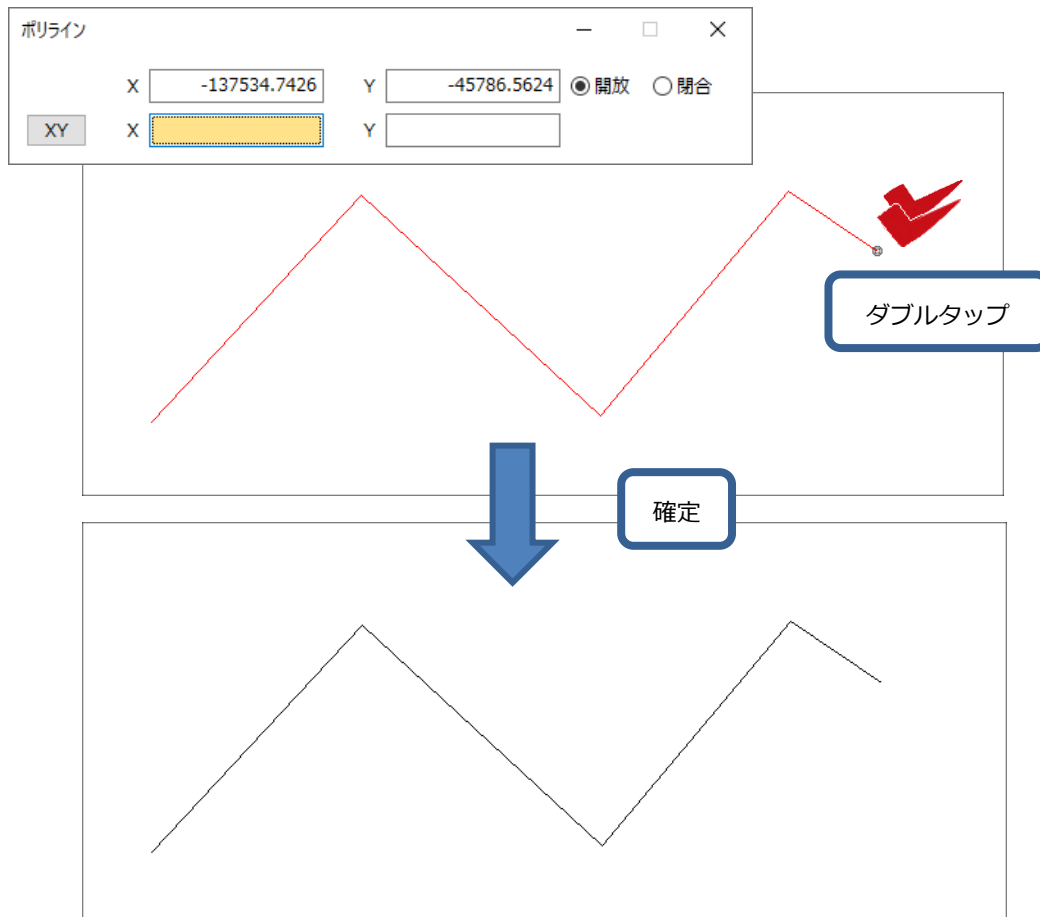
ボタンタップで各種入力モードに切り替え出来ます。



ポリラインコマンドのように複数の点列を取得する CAD コマンド利用時、ペンのダブルタップで点列を確定する機能を追加しました。GUIDER メニューの《確定》やポップアップメニューの《確定》を使わずに、簡単に素早く点列を確定できます。



例) ポリラインコマンド



TS 測設のプロトコル「NTRobo /NTRobo(Direct)」で連動時、3次元の測設に対応しました。

TS測設 開始(器械/後視)

器械/後視

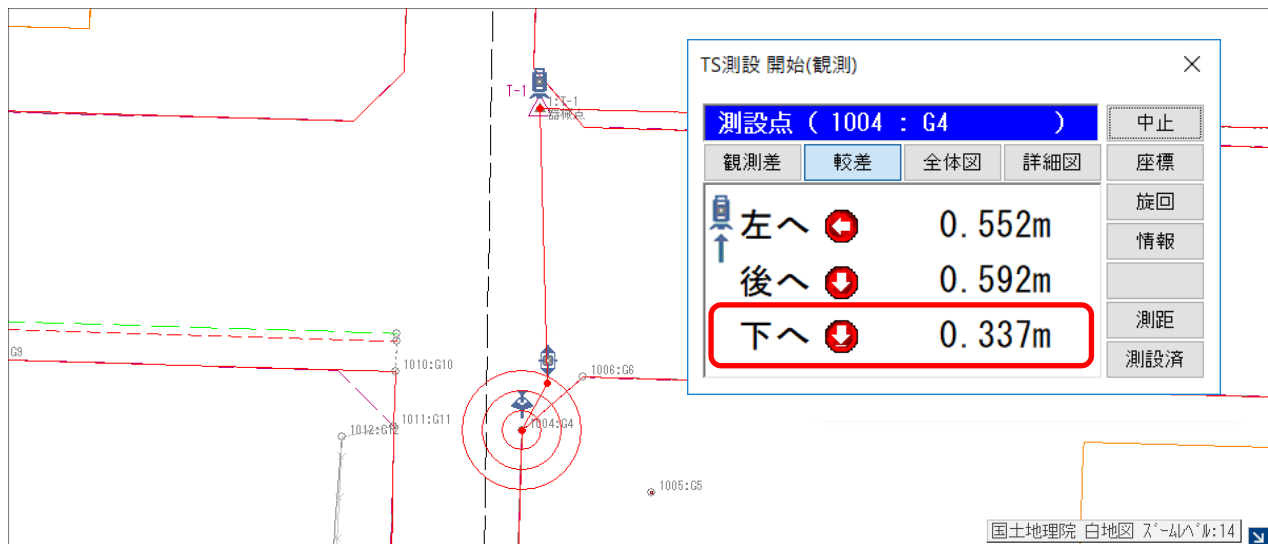
3次元測設 器械高 1.600 m 測設データ参照

器械点 1 T-1 Oセット

後視点 2 T-2 測距

設定 後視点を視準後、水平角を0度に設定してください 次へ 終了

前後左右だけでなく、高さ方向へも誘導できます。



「座標観測」や「座標登録」機能でも3次元の座標を登録できます。

座標登録

NO: [ ]

名称: [ ]

X: -137466.721

Y: -45713.987

Z: 3.938

登録 キャンセル

TS測設 開始(座標観測)

NO名称: 3 [ ]

水平角: 322-27-35 X: -137467.015

鉛直角: 80-56-54 Y: -45713.494

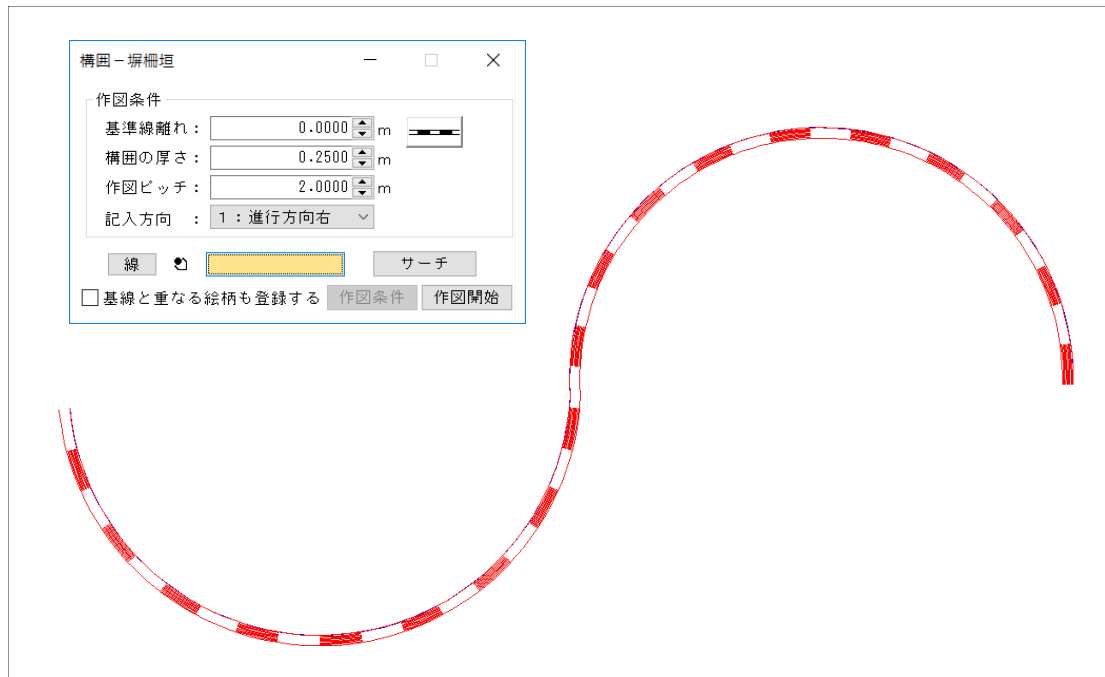
斜距離: 1.640 Z: 3.958

REC 登録 キャンセル

## 現況 CAD コマンドの円弧/サーチ対応

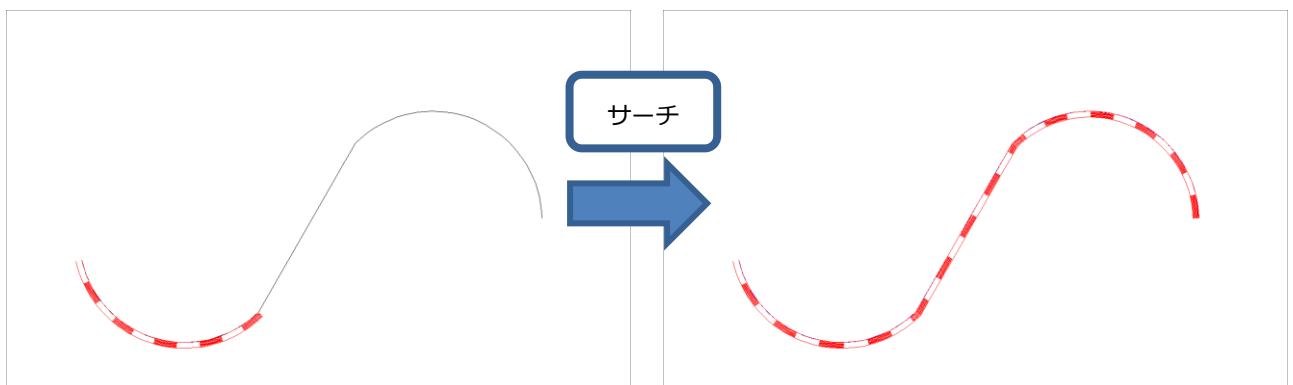
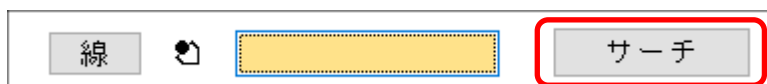
以下の現況 CAD コマンドの線指示において、円弧/円図形を選択できる機能を追加しました。

- ガードレール
- 構囲 - 塀柵垣
- 被覆 (射影なし)



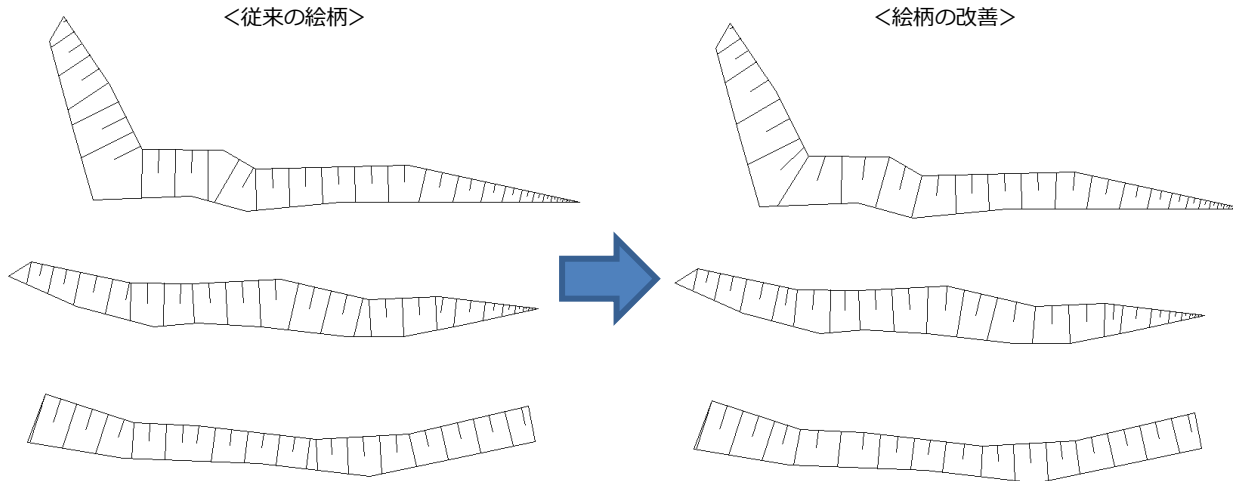
また、指示した線分に繋がる連続する線分/円弧を自動的に検索する機能を追加しました。

最初の線分/円弧を選択後、《サーチ》ボタンタップでつながる線分/円弧を検索します。



## 人口斜面の作図強化

人口斜面コマンドで、絵柄をきれいに作図できるよう調整しました。



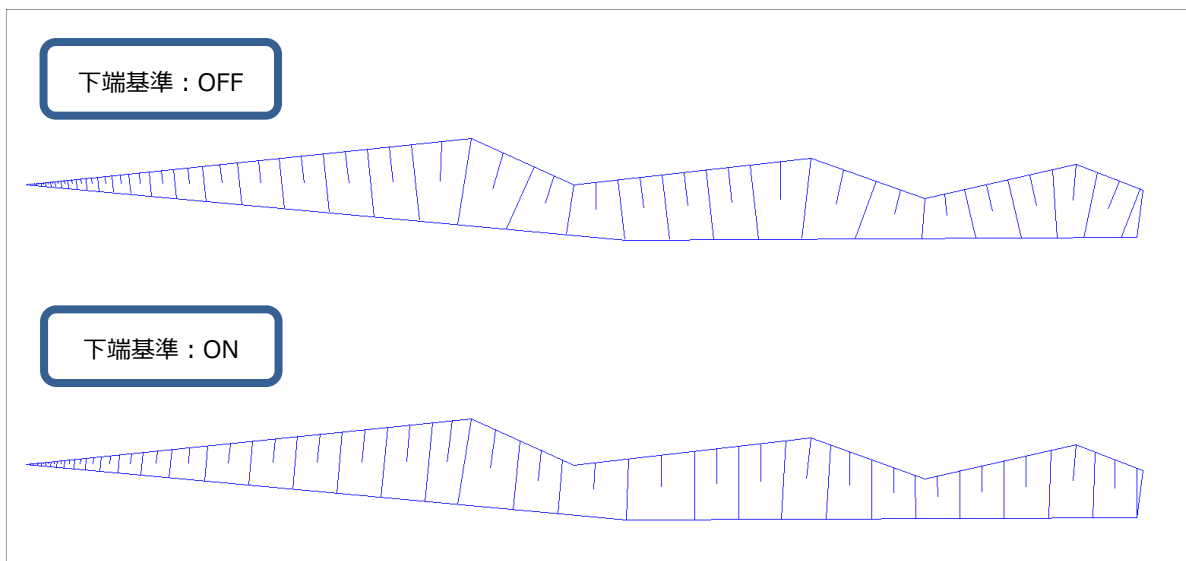
また、以下のコマンドでは下端（法尻）を基準として作図する機能を追加しました。

従来の作図に比べて、より自然に作図できます。

- 混合パーツ
- 人工斜面

The screenshot shows the '人工斜面' (Artificial Slope) dialog box. It has a title bar with a minus sign, a maximize button, and a close button. The dialog contains several options and input fields:

- 上端線を作図する (Draw top line)
- 下端線を作図する (Draw bottom line)
- 上端 (XY)** (Top (XY)) section:
  - P1= X: -137519.9111 Y: -45745.8594
  - P2= X: [ ] Y: [ ]
- 下端 (XY)** (Bottom (XY)) section:
  - P1= X: -137533.2084 Y: -45745.5537
  - P2= X: [ ] Y: [ ]
- スケール (Scale): 1.0
- 角度 (Angle): 0
- At the bottom, there are two checkboxes:  スケール調整を行う (Adjust scale) and  下端基準で作図 (Draw based on bottom reference). The second checkbox is highlighted with a red box.
- A '作図開始' (Start drawing) button is located at the bottom right.



その他多くの機能を改良しています。別紙「アップデート一覧」を合わせてご覧ください。



## ご注意

### ● 動作環境について

GUIDER ZERO Version 2.6.0.0 の動作環境は、以下の通りです。

OS	Windows 11 / Windows 10
CPU, メモリ	各 OS が、推奨するスペック以上
HD 空き容量	1GB 以上
解像度, 色数	1,024×768 以上 (1,280×1,024 以上推奨) / 16,777,216 色 (24bit)

64bit OS は、32bit 互換モード(WOW64)での動作となります。

仮想 OS 上での動作は保証いたしません。

Windows 10 では「タブレットモード」ではなく「デスクトップモード」でご利用ください。

### ● データの互換性について

本バージョンでは、図面データ構造拡張は行っておりません。

本書提供時の最新バージョンは「TOWISE Version 6.6.0.0」および「GUIDER ZERO Version 2.6.0.0」です。

### ● 標準ユーザー権限での利用について

標準ユーザー権限でご利用際は、以下の点にご注意下さい。

- ◆ インストールには管理者権限が必要です
- ◆ 一部の機能の実行には管理者権限が必要です※

※ 管理者権限が必要な機能：

ライセンスモニターのプログラム管理情報の更新

Trimble ライセンス認証





## 改良内容のご紹介

